

室生寺

モノクロの光と影

2019年
1月4日[金] — 4月16日[火]

同時開催
古寺巡礼
昭和の手仕事
伝統の装飾・文様



土門拳「室生山暖地性羊歯群落・奥の院にて(夏)」

詩の朗読会

『『宝の日』土門拳さんの記念館で吉野弘さんの詩をよむ』
3月2日(土) 午後2時〜 出演：酒田詩の朗読会

休館日／月曜日(祝日の場合は開館し翌火曜休館)

2月18日(月)〜22日(金) 臨時休館

土門拳記念館
Ken Domon Museum of Photography

山形県酒田市飯森山2丁目13(飯森山公園内)

TEL/FAX 0234-31-0028

<http://www.domonken-kinenkan.jp/>

入館料／一般430円、学生210円／中学生以下無料

開館時間／午前9時〜午後5時(入館は4時30分まで)



土門拳記念館展示情報

2019年1月4日(金)～4月16日(火)

休館日：月曜日

※3月まで。ただし1月14日(月)-2月11日(月)は開館し、1月15日(火)-2月12日(火)は休館

※2月18日(月)～22日(金) 臨時休館

*** 新春おとし玉くじ *** 土門拳オリジナルグッズ等が当たります

1月4日(金)～6日(日)・毎日先着10名

主要展示室

室生寺 モノクロの光と影

カラー・モノクロ 59点

土門が写真芸術家として名声を高めた写真集が『室生寺』（美術出版社/1954）であり、最後となった撮り下ろし写真集もまた『女人高野 室生寺』（同/1979）でした。本展では1975年に東京・小田急百貨店で開催した「室生寺展」と同図を中心に大型パネル作品58点をご紹介します。力強いモノクロの光と影をお楽しみください。

また、土門と室生寺を語るときには外せない、最晩年に待ちに待ってついに撮影した「雪の室生寺」カラー作品1点も、併せて展示いたします。

企画展示室Ⅰ

古寺巡礼 伝統の装飾・文様

カラー・モノクロ 44点

今年度の企画展では「世界遺産 日本遺産」に焦点をあて建造物を、「かおかたち」と題して仏像を中心に、それぞれ「古寺巡礼」の世界をご紹介します。今回は歴史の中で刻まれた建築や仏像の、装飾や文様といった細部の美。そこに惹かれ撮影してきた土門の視点で、大小織り交ぜて44作品をご紹介します。

企画展示室Ⅱ

昭和の手仕事

カラー・モノクロ 31点

土門は『自選作品集』（447点収録/1978刊）に「風貌」や「文楽」とともに「職人」の項目を設け、職人の手仕事の作品を数多く収録しています。今回は職人の手仕事とともに、戦後の人々の暮らしの中に密接に関わってきた内職や、授産施設の労働など、市井の人々の姿に焦点をあてた作品も加え31作品を展示。戦前・戦後の人々の暮らしを「手」を通してごらんください。

土門拳記念館

〒998-0055 山形県酒田市飯森山二丁目13番地（飯森山公園内）

TEL/FAX：0234-31-0028 <http://www.domonken-kinenkan.jp/>